

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科
科目名称 [英語名称]	特別活動論 [Extra-curricular Activities]				実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング
科目コード	410910	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	4年次
教員氏名	堂蘭 敬子				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(1) DP2(2) DP3(1) D P3(2)	
授業概要	特別活動は、児童の自治的な能力や自主的な態度を育て、学力向上の基盤に必要な人間関係を築き、いじめや不登校など問題に対する予防的な役割を果たすなど児童の成長に欠かせない教育活動です。しかし、近年、全国的にベテラン教師の大量退職に伴う若手教員の増加傾向が見られるとともに、特別活動には教科書のような基礎的な資料等がないことなどから、先輩教員からの指導技術の継承が円滑に行われなかったり、特別活動の教育的意義が十分に理解されなかったり、するなど、特別活動の時間が必ずしも効果的に活用されていないという課題が教育現場では多く見られる。そこで、本授業では、学習指導要領「特別活動編」を基に学級活動、児童会活動、クラブ活動及び学校行事の各内容について、指導のポイントや留意点など実践事例を交えながら理解を深めていく。また、即戦力として教育現場で授業ができるようにするために、よりよい学級づくりの基礎となる学級活動の模擬授業をグループで作り上げていく活動を入れていく。						
関連する科目							
授業の進め方と方法	1～4回までの授業は講義型になるが、それ以降は、アクティブラーニング型を展開します。なお、毎回の授業において、子どもの立場になって学級活動を理解し、授業の構成員としての参画意識を味わうために、朝の活動でよく行われる「1分間スピーチ」や親密な人間関係を体験させる活動である「構成的グループエンカウンター」をコロナ禍でも実施できる形で行う。(汎用的技能の育成)グループごとの模擬授業では、グループ全員で指導案を仕上げ、代表者が授業者、残りが子ども役となって授業を進めるなどの形式で授業を行う。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション「特別活動って？～コロナ禍での特別活動～」 特別活動の目標・内容・変遷 特別活動に期待されること(特別活動の時数、課題) 学級活動の目標・内容 学級会をどう指導するか①(事前 実際の指導 事後) 学級会をどう指導するか②(指導案の書き方、その他) 学級会の指導案作り 学級活動(2)(生活上の課題)をどのように授業にするのか 学級活動(2)の指導案作り 学級活動(2)の模擬授業① 学級活動(2)の模擬授業② 模擬授業の事後研究会～KJ法を活用してみよう～ 児童会活動をどのように児童の活動にするか 学校行事・クラブ活動をどのように児童の活動にする まとめ～特別活動は本当に「楽しく、豊かな学級・学校生活」をつくるのか～ 						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 特別活動における基本的な知識を体系的に理解することができる。(知識・理解) 2 教員として求められるコミュニケーション・スキル、論理的思考力、問題解決力を身につけることができる。(汎用的技能) 3. 教員として求められるチームワーク・リーダーシップを身につけることができる。(態度・志向性) 4. 教員に必要な課題を解決する能力を身につけることができる(統合的な学習経験と創造的思考力) 						
授業時間外の学修	授業において次時の授業内容を提示するので、事前に読み込んでください。また、授業後には必ず、自分の言葉で講義内容をまとめてください。また、1分間スピーチの内容については、内容等の事前準備おこなってください						
課題に対する フィードバック	指導案(略案)KJ法についての解説 最終 試験後には試験内容についての解説	評価方法			<ol style="list-style-type: none"> 1 学習態度(授業中)30点 2 学級会指導案 10点 3 学級活動指導案・模擬授業 30点 4 最終試験 30点 		
テキスト	小学校学習指導要領解説「特別活動編」文部科学省141円						
参考書	楽しく豊かな学級・学校生活を作る特別活動 909円 文部科学省国立教育政策研究所						
備考							